

## 「南北朝・菊池一族歴史街道」～各自治体紹介連載シリーズ～

R5年度 第4弾 (R5.11月掲載)

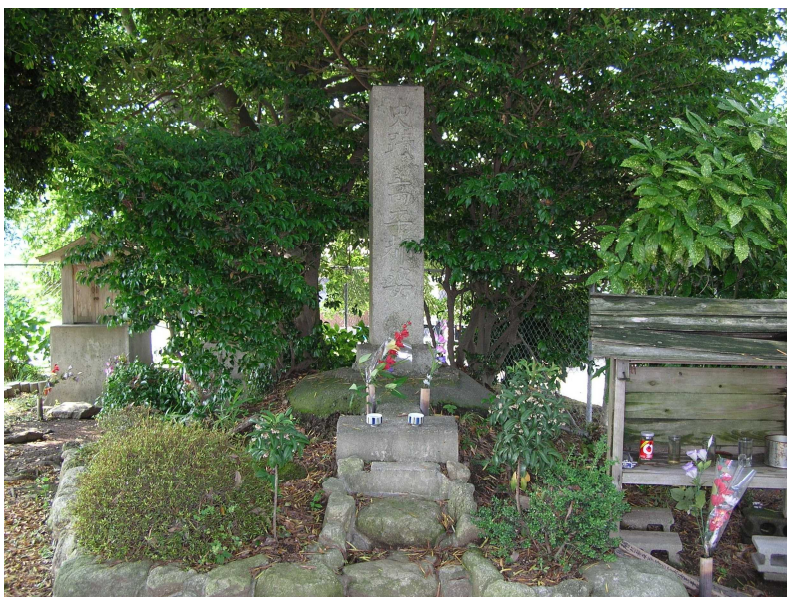
### 【小郡市】

福岡県小郡市おごおりは、筑紫平野から福岡平野へ抜ける場所に位置し、古来多くの人々が行き交った交通の要衝です。古代から中世まで九州を統括していた大宰府にも近く、南北朝時代には、九州を二分する南朝方と北朝方が雌雄を決した大保原合戦ほぼるかっせん おおほら（大原合戦）の舞台となりました。

市内には今でも合戦に関する史跡が残っており、戦いのあった夏を中心に毎年多くの人々が訪れます。

### 高卒都婆たかそとば（福岡県小郡市小郡）

自衛隊の自動車訓練場横の墓地の一画に、1923（大正12）年三井郡教育会が建てた「史蹟高卒都婆」の碑があります。碑の裏面には「大保原戦ニテ戦没セシ将士ヲ埋葬供養セシ所ナリ。今尚此附近ヨリ屢々多クノ枯骨ヲ発掘ス」と彫られています。合戦の戦死者を葬り、冥福を祈るため卒塔婆を立て、千僧相寄って供養した場所とされています。毎年、地元の保存会を中心に慰霊祭が行われています。



ふくどうぼる こせんじょうあと  
**福童原古戦場跡（福岡県小郡市寺福童）**

大保原合戦（大原合戦）の後、1361（正平 16・康安元）年に懐良親王・菊池武光ら征西府は大宰府入りを果たします。しかし、北朝方は今川了俊を九州探題に任命し、1372（文中元・応安 5）年、大宰府を奪還しました。高良山に退却することになった懐良親王ら征西府でしたが、了俊は高良山の征西府を攻めるために福童原に陣を敷き、1374（文中 3・応安 7）年 9 月に高良山を攻略、征西府は菊池へ撤退しました。そしてこの後、征西府が再び九州で覇権を握ることはありませんでした。福童原古戦場跡は、その合戦での死者を葬ったと伝えられる塚がある場所です。

**【お問合せ】**

小郡市教育委員会文化財課 ☎0942-75-7555